

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（店長）	・来客数、売上高、客単価とも上昇しており、今後もこの傾向は続く。ただ、4月の消費税の総額表示で、一時的に消費が低迷する可能性があるが、その後は回復してくる。気候も非常に良いペースで暖かくなっており、夏物の動きも良くなると期待している。
		衣料品専門店（経営者）	・これといったトレンドの商品はないが、単価がアップし、品質の良い商品や自分好みの商品の選び方が早くなってきているため、将来がかなり期待できる。
		家電量販店（店長）	・プラズマ液晶テレビの売行きが今後も順調に推移していく。
		家電量販店（営業担当）	・最近3か月は売上の横ばいが続いてきたが、エアコン、テレビ、洗濯機は、需要期を前に動きが早まっていることもあり、多少の期待感が持てる。
		一般レストラン（経営者）	・相変わらず低価格品の注文が多いが、注文数が増加しており、客単価は徐々に上昇している。
		旅行代理店（従業員）	・個人、グループでの海外旅行や、団体旅行の相談が多くなってきている。
		観光名所（経営者）	・団体客、一般観光客とも増えてきている。昨年はSARSの風評被害で売上が大きく落ち込んだので、今年は大幅に伸びる。
		ゴルフ場（従業員）	・予約率が良くなっている。
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	・6月初旬までは、例年、売上が上昇する時期であり、現状維持できる。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	・特にこれという理由はないが、一番心配なのはテロやイラクに派遣している自衛隊が攻撃された場合に、消費マインドが冷え込むことである。
		百貨店（総務担当）	・お饒別などの進物に関して、以前は高額商品を複数組み合わせさせて贈っていたが、現在は、1、2万円のアクセサリーの単品を5、6人の共同で進物する傾向がある。 ・1人当たりの出費金額が非常に少なくなっており、消費に対して厳しい態度は今後も変わらない。
		百貨店（営業担当）	・1、2月の売上高は前年比で増加したが、3月は前年割れとなった。大口売上は前年以上の伸びを示しているが、個人客の購入状況に変化はなく、春物の動きやブランド商品群の動きも鈍い。
		スーパー（財務担当）	・来客数は前年比で大幅に上回っているにもかかわらず、客単価は下回っており、客の必要な物以外買わない傾向は今後も続く。
		衣料品専門店（経営者）	・来客数に変化なく、単品買いが多い。4月からの消費税の総額表示の影響を除外しても、客の慎重な購入態度は変わらず、当面は一進一退の状態が続く。
乗用車販売店（管理担当）		・ショールームへの来客が少ない。	
観光型旅館（経営者）		・愛媛県では4月から「町並博」が開催され、航空会社のキャンペーンも実施されているが、今の予約状況から判断すると、4～6月あたりはまだその効果は現れず、現状と変化はない。	
やや悪くなる	都市型ホテル（経営者）	・今後の予約状況等をみると、そんなに大きく変わるとは思えない。	
	商店街（代表者）	・郊外大型店の施設整備、シネコンの開店等の影響で、商店街は、ますます厳しい状況が続く。	
	スーパー（企画担当）	・4月からの消費税の総額表示方式で、客は、価格が上昇したという感じを持っている。	
	衣料品専門店（経営者）	・消費税が内税になって、一時的に客の不安感が出ると思われる。	
悪くなる	乗用車販売店（営業担当）	・県下全体での来客数が前年比98.4%と、前年割れしている。受注状況も店舗間の格差が大きく、安定していない。	
	スーパー（店長）	・昇給幅も少なく、可処分所得が少なくなっている中で、4月からの消費税総額表示で商品の割高感が生じ、消費が控えられる懸念がある。	
企業	良くなる	乗用車販売店（従業員）	・販売チャンネルの再編に伴い、販売競争はますます激化する。
		-	-

動向 関連	やや良くなる	輸送業（支店長）	・飲料関係等の輸送で、夏場にかけては昨年を上回る予想である。
		通信業（支店長）	・2、3か月後に発売される新製品効果に期待している。
		広告代理店（経営者）	・得意先の店舗リニューアルや新店オープン計画に伴う販促の話があり、少し先行きに期待が持てる。
		公認会計士	・取引先の社長からの相談の中で、設備投資に関する相談内容が増えてきている。経営者自身も、景気の先行きが良くなると考え、前向きに取り組む人が多くなっている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・小型クレーンに関しては、トラックの排ガス規制による特需に首都圏で陰りが出てきており、この動きが中部、関西圏へも広がりをみせている。この状態がしばらく継続する。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・回収処分場の建設など、循環型社会に向けた動きもあり、4月以降多少期待は持てるが、大きな変化は望めない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・為替が再び円高基調にあること、さらに中国の好景気の影響から輸入材料が高騰しており、こうしたコスト上昇圧力が景気回復を妨げることになる。
		建設業（経営者）	・16年度の公共事業工事も多くは望めず、民間工事も相変わらず競争が厳しい。
		輸送業（総務担当）	・貨物の荷動きは昨年12月より前年実績を上回って推移しており、特に、3月は104%と少し伸び率が上がった。2、3か月先もこのペースが続く。
	やや悪くなる	建設業（総務担当）	・中心部のマンションが同時期に大量に発売されるため、値崩れが懸念される。
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（従業員）	・求人数も採用者数も増加しており、今後動きが出てくる。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求人数は前年比で6か月連続で増加したが、一部に雇用調整が続いており、雇用情勢の厳しさは変わらない。
		職業安定所（職員）	・求人数は前年比で若干増加しつつあるが、雇用保険の被保険者数の減少に歯止めがかからず、パート被保険者への代替も続いており、改善傾向は感じられない。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-